

2021年1月29日

アメリカ合衆国 大使館 気付
ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア大統領 殿

大阪よどがわ市民生活協同組合
理事会

臨界前核実験実施に抗議し、核兵器廃絶の施策をとることを求めます

貴国は2020年11月に臨界前核実験を実施していたことを明らかにしました。

核爆発を伴わないとはいえ、今回核実験を実施したことは、今後も核兵器を持ち続ける意思を表明したものと受け止められる行為です。被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める国際世論の願いを大きく踏みにじるものであり、断じて許すことはできません。

広島・長崎に原爆が投下されて75年が経過しましたが、原爆による後遺症は今なお被爆者の命を奪い続けています。被爆者は生きているうちに核兵器がなくなることを強く願っています。

私たちは被爆国の国民として、また「平和とよりよい暮らし」を求める生活協同組合として、すみやかな核兵器の廃絶こそが世界平和実現への道であることを確信しています。

貴国が一日も早く核兵器廃絶の先頭に立ち、その具体的な施策をとることを強く求めます。

以上

大阪よどがわ市民生活協同組合
〒564-0015 大阪府吹田市幸町4-1
TEL 06-6319-5619
FAX 06-6381-9841